



人口減少に
歯止めを！

子育てするなら筑西市

あらゆる世代が安心して暮らせる 元気都市・筑西をめざして

令和2年度の当初予算について、紹介します。

新型コロナウイルスの脅威によって経済活動への影響が心配されますが、本市の将来像の実現に向けた取り組みを推進していきます。

厳しい財政状況

歳入については、市税収入が法人市民税の落ち込みにより、大きく減収となる見込みです。一方で、新たに法人事業税交付金や地方消費税交付金などの増額が見込まれていることから、一般財源総額は前年度と比較して増額となっています。

歳出については、「玉戸・一本松線整備事業」や「明野地区義務教育学校整備事業」の推進など、前年度以上の歳出が見込まれます。

このような厳しい財政状況の中、最大限の危機感を持って全ての事業を再度見直し、重点分野への予算配分を優先した予算編成を行いました。

子育て支援の強化

本市の子どもたちの健やかな成長と子育てをしつかりと見守れるよう、4月1日以降に本市で生まれたお子さんに「誕生祝い金」として、一人当たり20万円を支給します。さらに、3歳未満の第2子以降については、保育料を無料とし、子育て世代の経済的負担を軽減します。

また、放課後まで安心して児童を預けられる放課後児童クラブの整備を進め、妊娠・出産期からの切れ目のない支援と、教育・保育環境の更なる充実に取り組みます。

人口減少対策

若者の生の声を市政に活かすため、本市から近隣の大学などへ通学する学生を中心とした「ちくせい若者まちづくり会議」を設置します。この組織を通して、市の魅力の再発見や学生目線での情報発信、また学生同士が交流を深めることにより帰属

将来像の実現に向けて

今年の予算は、「人口対策緊急プロジェクト」として、子育て支援や人口減少対策などに重点を置き、移住・定住促進対策を進め、人口減少に歯止めをかけます。

市民にやさしいまちづくりを念頭に「いまできる改革・いますべき改革」を常に意識し、最小の経費で最大の効果を上げるよう取り組んでまいりますので、これからもみなさんのご協力をお願いします。

筑西市長 須藤 茂